

製品名: リン酸化 PKC ゼータ (Thr560) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87118**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:68 kDa; Observed MW:68 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-PKC zeta
別名	PKC2; PKC-ZETA
遺伝子 ID	5590
SwissProt ID	Q05513
免疫原	ヒト PKC ゼータの Thr560 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

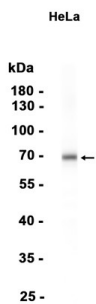
プロテインキナーゼ C (PKC) ゼータは、増殖、分化、分泌など、様々な細胞プロセスに関与するセリン / スレオニンキナーゼの PKC

ファミリーの一員です。カルシウム依存性の古典的な PKC アイソザイムとは異なり、PKC ゼータはカルシウムとジアシルグリセロールに依存しないキナーゼ活性を示し、ホスファチジルセリンには依存しません。さらに、典型的な PKC 阻害剤には非感受性であり、ホルポールエステルによって活性化されません。古典的な PKC アイソザイムとは異なり、PKC ゼータはジンクフィンガーモジュールを1つしか有しません。これらの構造のおよび生化学的特性から、ゼータ亜種は PKC の他のアイソザイムと関連があるものの、異なることが示唆されます。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



ホスホ PKC ゼータ (Thr560) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。